

「ヨシ焼き」



今回のヨシ焼きについては、
前回（平成26年）の実施結果
を踏まえ、従来どおり渡良瀬遊
水地全域を対象として実施し
ます。大変ご迷惑をおかけしま
すが、ヨシ焼きの必要性をご理
解の上、ご協力をお願いします。



3/22 日 ヨシ焼き日前日の
17:00以降は
立入禁止となります。
AM8:30~PM5:00

※電話による自動音声案内(☎0282-62-0915)で実施・延期のみ確認できます。

なお、放射性物質の影響については、遊水地内の空間線量率が前回測定結果とほぼ同様の測定結果が得られていることから、ヨシ焼きによる周辺地域への影響は十分小さく、安全上問題ないものと考えています。

ヨシ焼きの情報や実施状況の確認は、パソコンから(<http://www.watarase.or.jp>)にアクセスして確認ができます。

渡良瀬遊水地のヨシ焼きについて

渡良瀬遊水地全景(空撮)



○ヨシ(イネ科)

高さ2~3mになり、アシとも呼ばれます。渡良瀬遊水地を代表する植物で、ヨシズの原料になります。

ヨシの刈り取り



ヨシズ



ヨシ焼きによって守られている
広大なヨシ原



ヨシ焼きをしないため
樹林になってしまった場所



害虫により変色したヨシ



ヨシ焼きの目的

「ヨシ焼き」はラムサール条約湿地登録となった渡良瀬遊水地の貴重な湿地環境を保全するために行われます。ヨシを焼くことにより、害虫を駆除したり、落ち葉等も焼くことによってヨシを育ちやすくしたり、ヨシ原内の樹木を焼くことによって林のようになるのを防ぎます。また、貴重種であるトネハナヤスリなどの、春植物の発芽を促進し、渡良瀬遊水地固有の豊かな自然環境を保全するために必要です。さらにヨシ焼きをすることで、野火や放火などの火災防止対策になり、地域の防災にも役立ちます。

ヨシ焼きが必要な春植物



チョウジソウ



エキサイゼリ



タチスミレ



トネハナヤスリ

放射性物質の状況

- 放射性物質の影響については、遊水地内の空間線量率が前回測定結果とほぼ同様の測定結果が得られていることから、ヨシ焼きによる周辺地域への影響は十分小さく、安全上問題ないものと考えています。
また、今回のヨシ焼き実施時においても、遊水地内及び周辺においてヨシ焼き前後の空間線量率の測定を実施します。

現在の渡良瀬遊水地内の空間線量率の測定結果

●渡良瀬遊水地：渡良瀬遊水地内

○平成26年12月17日： 9箇所

・ 0.060 μ Sv/h ~ 0.130 μ Sv/h 平均値：0.097 μ Sv/h

上記の測定値は、測定箇所によるばらつき範囲と平均値を表します。

●平成27年3月実施予定のヨシ焼き実施の際の空間線量率測定について

○平成27年3月実施予定のヨシ焼き実施の際にも、以下の場所において空間線量率の測定を実施します。

- ①渡良瀬遊水地内（事後）
- ②渡良瀬遊水地周囲堤（事前、火入れ中、事後）
- ③渡良瀬遊水地周辺（事前、火入れ中、事後）